

令和5年度企画展
「ミュージアムヒストリー -丹後郷土資料館のあゆみ-」
記者レクチャーのお知らせ

令和5年4月27日
丹後郷土資料館
(電話 0772-27-0230)

半世紀あまり、地域とともに歩んできた当館の歴史を振り返り、その時々
に話題となった資料を通して、ミュージアムの未来を展望します。

今回、本展示にかかる記者レクチャーの日時を、下記のとおり、御案内
させていただきます。

記

- 1 日 時 令和5年5月20日(土) 11時～(30分程度)
- 2 場 所 丹後郷土資料館 企画展示室(正面からお入りください)
- 3 展示期間 5月20日(土)から6月25日(日)まで
- 4 展示担当 考古分野 資料課長 松尾史子
民俗分野 副主査 青江智洋
歴史分野 技師 稲穂将士
- 5 その他 展示期間中、リニューアルに向けて、ミュージアムの未来につ
いてのメッセージボードを設置

担当	西田総務課長・吉岡主事
電話	0772-27-0230
mail	tango-s-soumu@pref.kyoto.lg.jp

開催要項

- 1 名称 企画展「ミュージアムヒストリーー丹後郷土資料館のあゆみー」
- 2 会期 令和5年5月20日(土)から同年6月25日(日)まで
開館日数：32日間（会期37日のうち）
休館日：毎週月曜日
開館時間：午前9時から午後4時30分まで
- 3 会場 京都府立丹後郷土資料館（京都府宮津市字国分小字天王山611-1）
TEL：0772-27-0230 FAX：0772-27-0020 URL：<http://www.kyoto-be.ne.jp/tango-m/>
- 4 主催 京都府立丹後郷土資料館

5 開催趣旨

丹後郷土資料館は、京都府北部地域の歴史・考古・民俗分野等に関連する資料の保存及び活用を図り、府民の文化的向上に資することを目的として、昭和45年（1970）に開館しました。以来、当館は多くの人に育まれながらさまざまな活動に取り組み、半世紀あまりの時間を刻んできました。

先人の叡智である文化遺産を未来へ伝えていくことが使命であるミュージアムは、“サステイナブル（持続可能）”であることが重要です。

本展では、地域とともに歩んできた当館の歴史を振り返り、その時々話題となった資料を通して、これからの“持続可能なミュージアム”の未来を展望します。

6 展示内容・主な展示資料

(1) 丹後郷土資料館の成り立ち

丹後郷土資料館開館を伝える新聞記事、丹後郷土資料開館10周年記念式〔写真〕

(2) 展覧会で振り返る館のあゆみ

金銅装双龍環頭太刀、方格規矩四神鏡、国分寺追儼面、丹後半島の漁撈用具

(3) これからのミュージアムを考える

館事業・普及活動等写真パネル、展覧会図録、調査報告書

7 展示資料数 合計50点

8 関連事業（文化財講座）

演題 「丹後郷土資料館と丹後王国論」

日時 5月27日（土） 午後1時30分から3時まで

場所 当館 第一研修室

講師 杉原和雄氏（元京都府立丹後郷土資料館技師・元大阪国際大学教授・（公財）向日市埋蔵文化財センター理事長）

9 協力機関・個人（敬称略・五十音順）

京丹後市教育委員会、国分寺、智恩寺、成相寺、宮津市教育委員会、与謝野町教育委員会
杉原和雄

10 入館料

一般 200 円 小中学生 50 円、団体割引(20 名以上)：一般 150 円 小中学生 40 円

ただし、以下の方は無料。

- ・友の会会員、満 65 歳以上の方、障害者手帳等をお持ちの方とその介護者
- ・「きょうと子育て応援パスポート」利用により児童を同伴された親または祖父母の方 1 名分
- ・小中学校等の学校教育活動の場合は申請により無料

MUSEUM

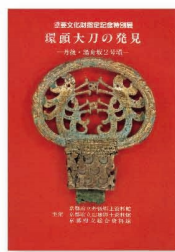


The History of Tongo Regional Museum

HISTORY 1970 2023



2023 Kyoto Prefectural
Tango Regional Museum
Special Exhibition



企画展

ミュージアム ヒストリー



5/20(土) ⇒ 6/25(日)

休館日 月曜日
開館時間 午前9時～午後4時30分
入館料 一般200円 小中学生50円
団体割引(20名以上) 一般150円 小中学生40円
○ただし、次の方は無料
満65歳以上の方、障害者手帳などをお持ちの方と
その介護者/小中学校等の学校教育活動の場合
○「きょうと子育て応援パスポート」が利用可能

丹後郷土資料館のあゆみ



ふるさとミュージアム丹後
(京都府立丹後郷土資料館)

〒629-2234 京都府宮津市宇国分小字天王山 611-1 TEL.0772-27-0230 FAX.0772-27-0020

The History of Tango Regional Museum

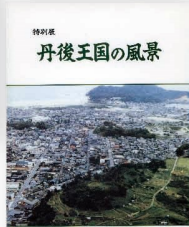
丹後郷土資料館は、京都府北部地域の歴史・考古・民俗分野等に関連する資料の保存及び活用を図り、府民の文化的向上に資することを目的として、昭和45年(1970)に開館しました。以来、多くの人に生まれながらさまざまな活動に取り組み、半世紀あまりの時間を刻んできました。

文化遺産を未来へ伝えていくことが使命であるミュージアムは、“サステナブル(持続可能)”であることが重要です。

本展では、地域とともに歩んできた当館の歴史を振り返り、その時々話題となった資料を通して、これからの“持続可能なミュージアム”の未来を展望します。



1980



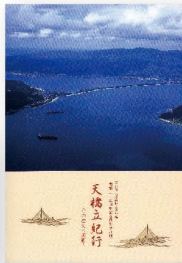
2000

30周年記念展!

2023 Kyoto Prefectural
Tango Regional Museum
Special Exhibition



2020



展覧会でふりかえる 丹後郷土資料館のあゆみ



当館開館に尽力された岩崎英精と開館十五周年を語る座談会(1985年)



友の会初代会長中嶋利雄(中央)・当館開館10周年記念式(左)・両丹地方史研究大会(右)

写真キャプション ①開館当初の当館 ②古文書整理作業 ③さらさら丹後(宮津) ④通輪の復元作業 ⑤展示解説 ⑥『環頭太刀の発見』展図録・金銅装双龍環頭太刀柄頭(奈良文化財研究所 栗山雅夫撮影) ⑦ラファエロ小玉 ⑧国分寺追儺面 ⑨開館当初の当館外観・風景 ⑩方格規矩四神鏡 ⑪増築した当館外観・風景



◎関連イベント

文化財講座

「丹後郷土資料館と丹後王国論」

日時 5月27日(土) 午後1時30分～3時

講師 杉原和雄さん 元京都府立丹後郷土資料館技師
元大阪国際大学教授

最新情報は
こちらを
チェック!



HP
(ホームページ)



Instagram
(インスタグラム)



Twitter
(ツイッター)



交通のご案内

ACCESS

- ・京都丹後鉄道宮豊線「天橋立駅」または「岩滝口駅」から丹海バス伊根方面行き「丹後郷土資料館」下車。または「国分」下車徒歩5分
- ・「与謝天橋立IC」から車で10分

これからの“持続可能な
ミュージアム”を考える